

**「わが家の電気・ガス料金しらべ」**  
**報告書**  
**(5月分)**

2016年7月

 **日本生活協同組合連合会**

# 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

2016年4月1日より家庭用の電気について、事業者や料金、サービスを消費者が自由に選択できるようになりました。他のエネルギー関係事業者（都市ガス、LPガス、石油会社など）や様々な業種から参入があり、報道やテレビCMなども活発になっています。また、2017年4月1日からは家庭用の都市ガス小売事業も自由化される予定となっています。LPガス小売事業については、1996年に自由化されています。

こうした状況を踏まえ、組合員の協力を得て「わが家の電気・ガス料金しらべ」をインターネット調査にて行いました。調査結果より、消費者の立場から電気・ガスの料金動向や事業者の切り替え動向などについて分析し、家庭用の電気・ガス料金がどのような状況にあるのかを明らかにし、社会的に問題提起をする基礎資料としていきます。

## 2. 実施方法

Web上に「わが家の電気・ガス料金しらべ」サイト（スマートフォン、パソコン両方に対応）を設置し、インターネット調査で行います。組合員が、契約している電気・ガス（都市ガス、LPガス）の事業者名、電気・ガス料金、LPガス料金請求書（領収書）画像などを入力いただき、都道府県別に状況を集約しました。

今回の報告書は、5月の請求書（領収書）を元に、6月1日～30日までの調査期間中に回答いただいたデータを分析しました。

## 3. 調査対象

### （1）会員生協の組合員学習活動と結びつけた調査

組合員の学習活動とあわせて、調査協力を呼びかけました。

### （2）インターネットモニターによる調査

上記による呼びかけとともに、日本生協連のインターネットモニター（全国約4,000名）に、Eメール配信し、ご協力をお願いしました。

## 4. 回収状況

5月分の調査は、6月1日～30日の期間中に、2,028件の回答をいただき、そのうちの1,990件を有効回答とし、分析を行いました。

# 調査結果の特徴

---

## 1. 電力会社の切り替え状況

- 電力会社を替えた方は73件で全体の3.7%。電気料金単価は、既存大手電力会社とほぼ同水準。
- 今後、電力会社を切り替える検討をしている方は、全体で32.7%。地域によって検討中の割合に差がある。

## 2. ガス料金の特徴

- LPガスの料金の方が都市ガスの料金よりも、月平均で約700円高い。
- LPガスの料金は、家庭によって大きくバラツキがある（価格差が大きい）。
- LPガスの料金は、集合住宅の方が戸建よりも高い（月平均で1000円以上高い）。

## 3. LPガスの契約時書面、領収書の特徴

- LPガスの契約時の書面について、「保管してある」が46%、「もらったがなくした」が22%、「もらった覚えがない」が32%、合計で過半数の方が手元にない。
- LPガスの領収書は、基本料金など明細が書かれていないものや、手書きなど様々。

## 4. 光熱費の比較（オール電化、電気と都市ガス、電気とLPガス）での特徴

- 「オール電化」が安く、「電気とLPガス」の併用の家庭が最も高い傾向にある。  
（※ただし、オール電化の戸建の場合には、初期費用がかかることも考慮する必要がある。）

# 調査結果

## 1. 回答者の概要について

### (1) 都道府県別 回答数

5月分(6月1日～6月30日 集約)における回答者は、2,028件となった。そのうち1,990件を有効回答とし分析を行った。都道府県別にみると、大阪府が223件で最も多く、兵庫県が166件、福岡県が150件、東京都が147件、神奈川県127件と続いた。

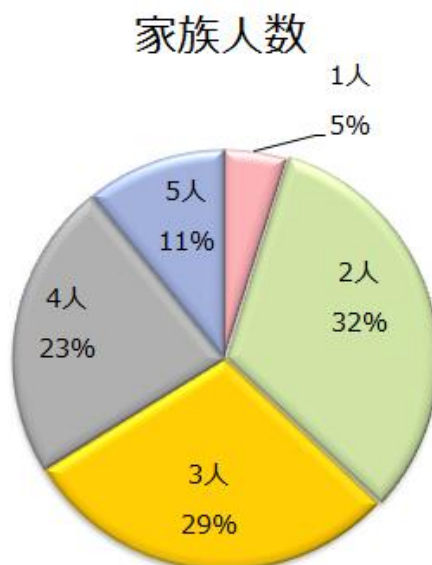
都道府県別 回答数(件)

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
106	21	37	138	15	16	13	43
栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
13	19	95	91	147	127	16	10
石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
20	7	14	29	32	51	40	26
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
19	37	223	166	13	5	8	14
岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
22	37	21	8	8	28	6	150
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
13	19	20	23	0	22	2	1,990

### (2) 家族人数

家族人数は、2人家族が641件で32%と最も多く、3人家族が581件で29%と続いた。

家族人数	1人	2人	3人	4人	5人
回答(件)	95	641	581	458	215

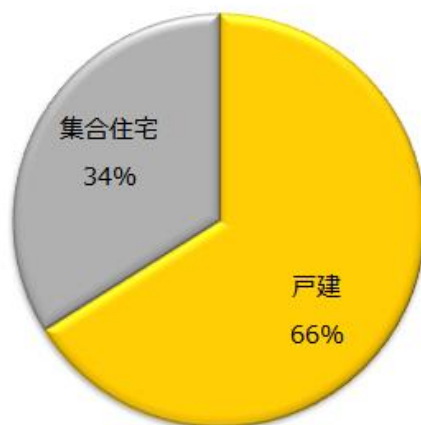


### (3) 住宅（戸建、集合住宅）

住宅は、戸建が 1,316 件で 66%、集合住宅が 674 件で 34%だった。

住宅別	戸建	集合住宅
回答(件)	1,316	674

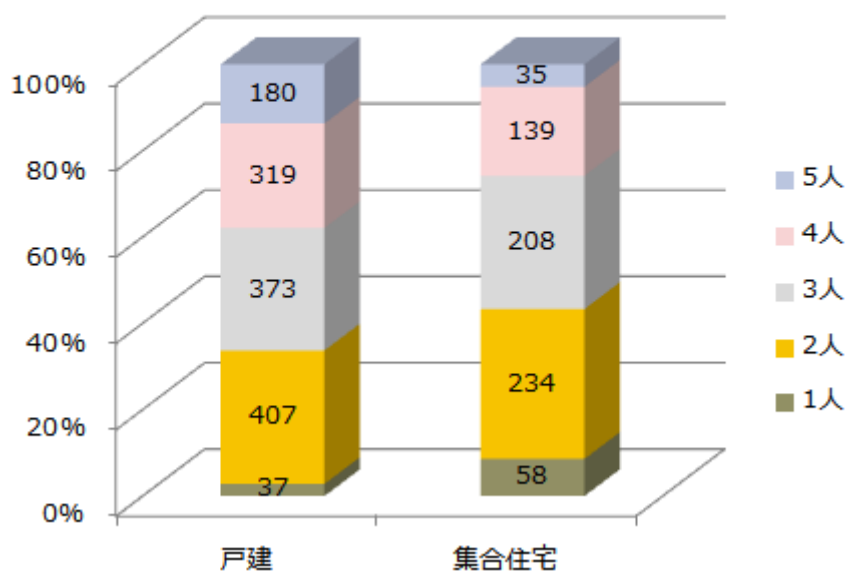
住宅の種類



### (4) 住宅別 家族人数

家族人数を住宅別（戸建、集合住宅）にみると、1～3 人家族では集合住宅の割合が多いが、それ以上の家族人数だと戸建の割合の方が多かった。

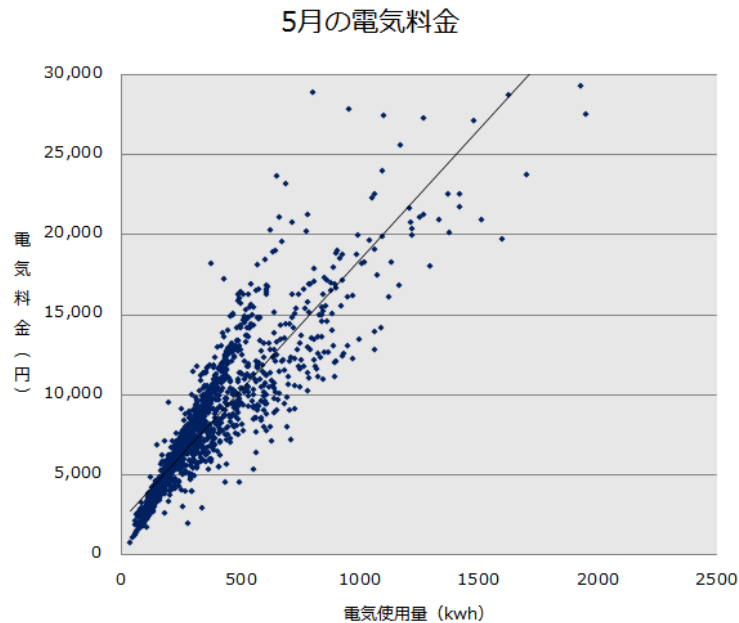
住宅別 家族人数



## 2. 電気料金について

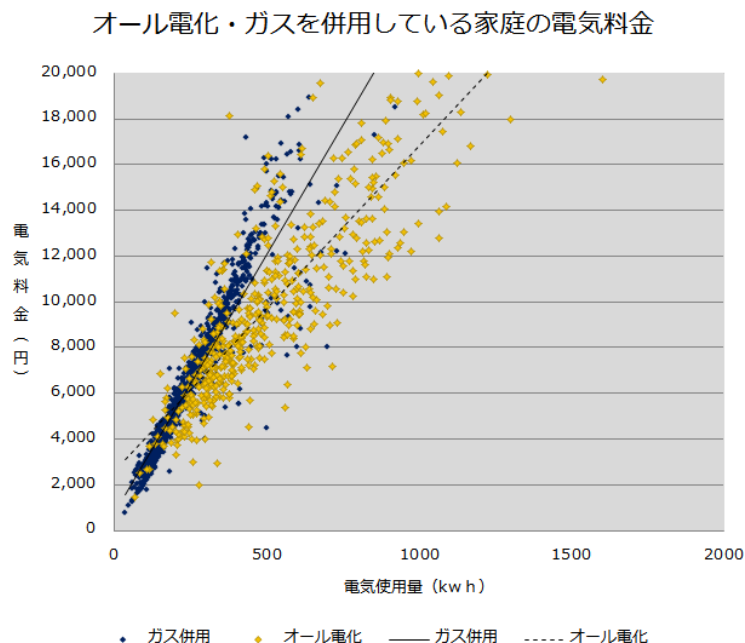
### (1) 電気料金

5月の電気の使用量の平均は、331kwh、平均料金は7,576円だった。なお、電気料金の分布のバラツキについては、オール電化の電気料金体系が、ガスを併用している一般の家庭と異なっていることなどが要因となっていると考えられる。加えて、使用量が少ないほど、基本料金の影響を受けて単価が高い傾向にあることも考慮する必要がある。



### (2) 電気料金（オール電化の家庭、ガス併用の家庭）

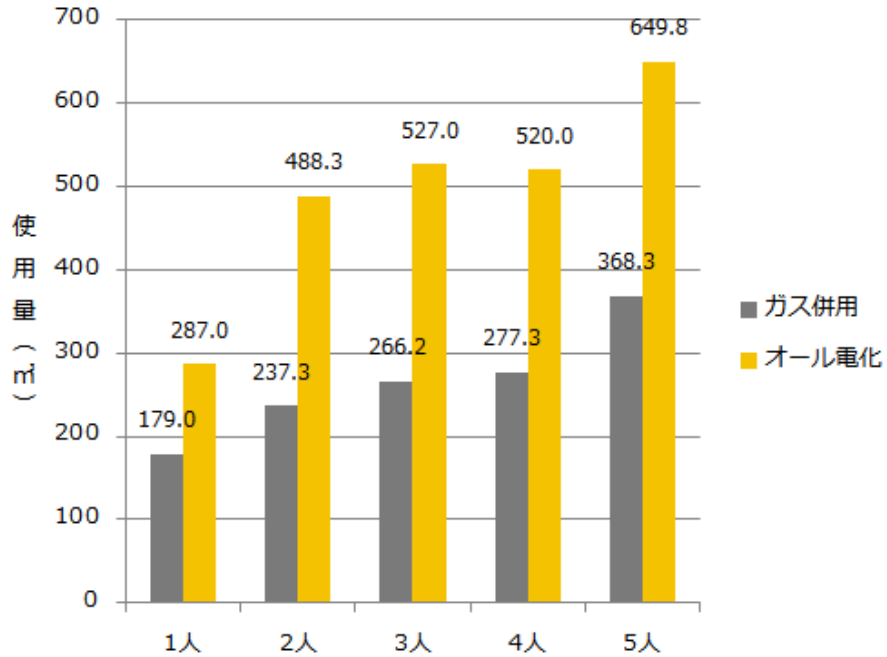
電気料金をオール電化の家庭（「ガスを使用していない」と回答した方）と、ガスを併用している家庭（都市ガス、LPガス、簡易ガス）に分けてみたところ、オール電化の家庭の方が、使用量が多く、料金の上昇も緩やかになっていた。ただし、オール電化の家庭の多くの割合を占める戸建の場合には、初期費用が大きくかかることも考慮してみていく必要がある。



### (3) 電気使用量（家族人数別、オール電化の家庭とガス併用の家庭）

家族人数別の電気使用量について、オール電化の家庭（「ガスを使用していない」と回答した方）と、ガスを併用している家庭（都市ガス、LP ガス、簡易ガス）の平均値をみたところ、どちらの家庭とも、家族人数 2~4 人家族の使用量に大きな差がないことがわかった。

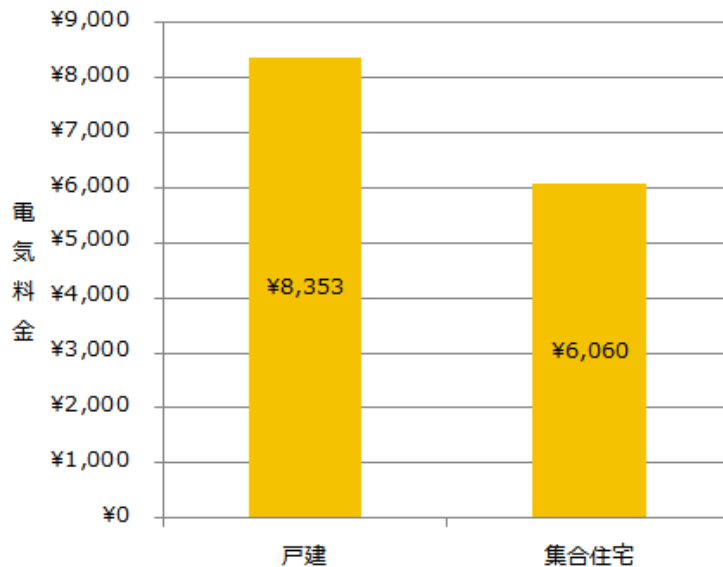
#### 家族人数別 電気使用量（平均）



### (4) 電気料金（住宅別）

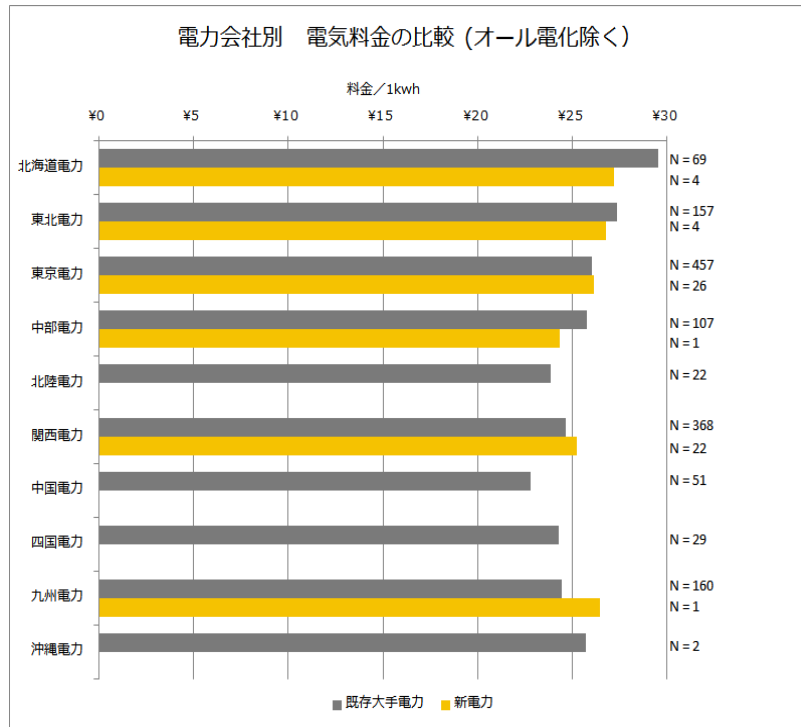
電気料金を住宅別にみると、集合住宅（平均 6,060 円）の方が、戸建（平均 8,353 円）よりも料金が低く、電気使用量も少ない傾向にあった。

#### 住宅別 電気料金（平均）



### (5) 電気料金単価（電力会社別）

5月分領収書で大手電力会社以外の「その他」の電力会社となっている方（4月までに新電力に切り替えた方）は59件だったが、1kwh当たりの電気料金単価は、既存大手電力会社とほぼ同水準となっていた。ただ、全体で見ても、切り替え件数が少なく、まだ評価できない。



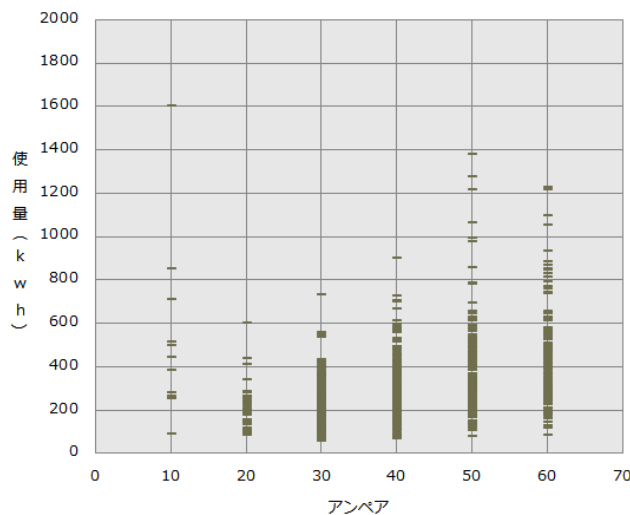
※九州電力エリアで新電力に切り替えた方は1名のみで、使用量がきわめて少ない方だったため、単価が高く出ている。

### (6) 電気使用量（アンペア別）

アンペア（A）別では、40Aの契約が375件と最も多く、アンペアの単位が上がるほど電気使用量が多くなる傾向があった。ただし、高いアンペア契約の中には、使用量が少ない家庭もみられ、より適正なアンペアに切り替えていくことで、料金を下げられる可能性もみられた。

アンペア(A)	10	20	30	40	50	60
件数	12	44	348	375	208	146

アンペア別 電気使用量



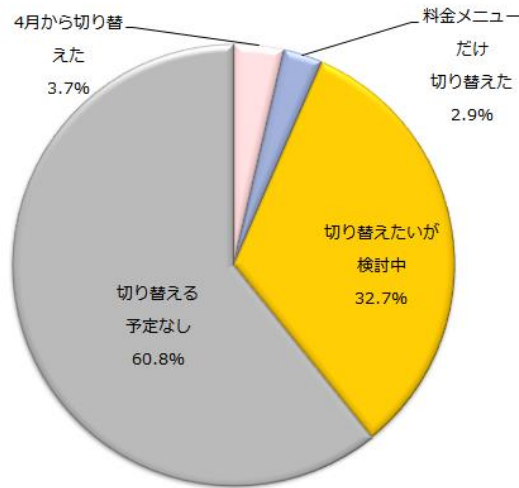


### (7) 今後の電力会社・電気料金の切り替え予定

今後の電力会社・電気料金の切り替え予定についてきいたところ、「4月から切り替えた」が73件で3.7%、「同じ電力会社で料金メニューだけ切り替えた」が57件で2.9%であった。「切り替えたいが、検討中」が651件で32.7%あり、あわせて約4割の方が切り替えたか、切り替えを検討していることが分かった。

今後の電力会社・電気料金の切り替え予定	件数
1 4月から切り替えた	73
2 同じ電力会社で料金メニューだけ切り替えた	57
3 切り替えたいが、検討中	651
4 切り替える予定なし	1,209

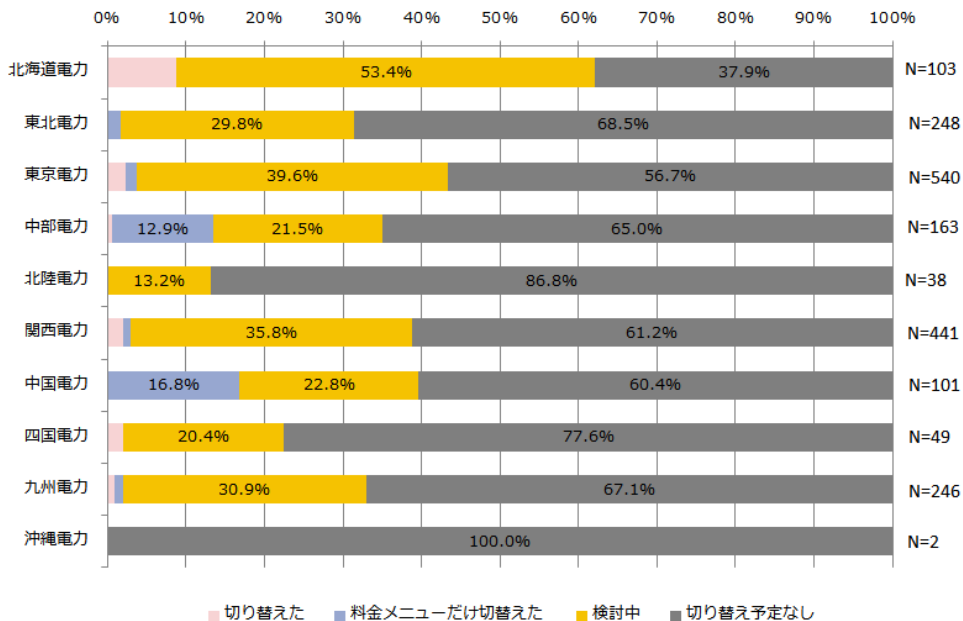
今後の電力会社・電気料金の切り替え予定



### (8) 今後の電力会社・電気料金の切り替え予定（電力会社別）

今後の電力会社・電気料金の切り替え予定について、電力会社別にみると、北海道電力エリア内では、「切り替えたいが検討中」が53.4%と、過半数が検討している状況がみられ、東京電力エリア内で39.6%、関西電力エリア内で35.8%と続いた。

電力会社別 今後の切り替え予定

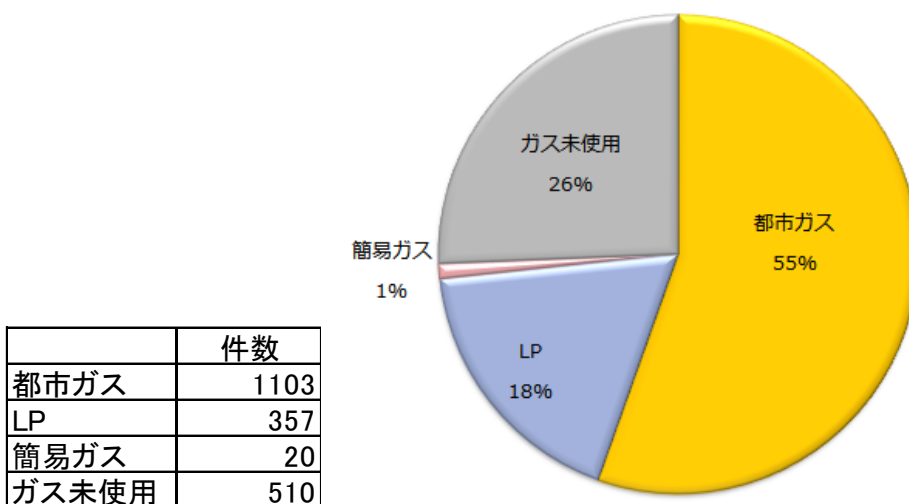


### 3. ガス料金について

#### (1) ガスの種類

使用しているガスを種類別にみると、都市ガスが 1,103 件で 55%と最も多く、ガス未使用（オール電化とみなす）が 510 件で 26%、LP ガスが 357 件で 18%となっていた。ガス未使用の家庭が LP ガスを使用している家庭よりも多かった。

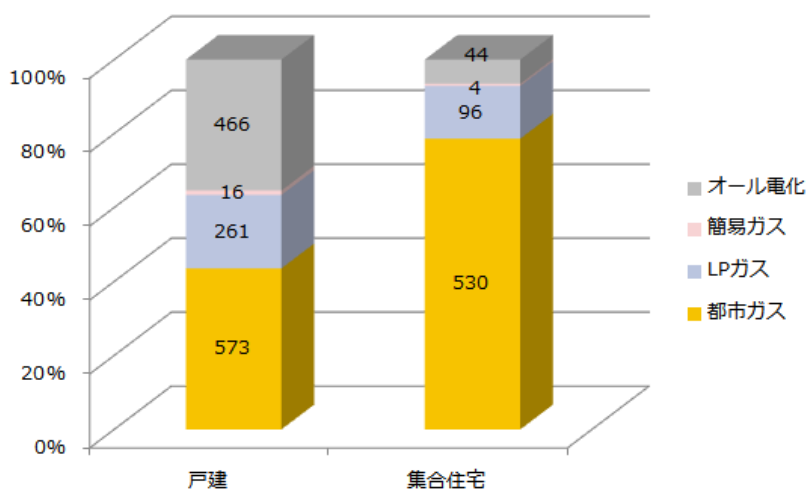
ガスの種類



#### (2) ガスの種類（住居別）

使用しているガスの種類を住宅別にみると、集合住宅では都市ガスが 530 件、約 79%と多かった。戸建では、オール電化の家庭が 466 件、35%と、集合住宅（7%）よりも多くなっていた。

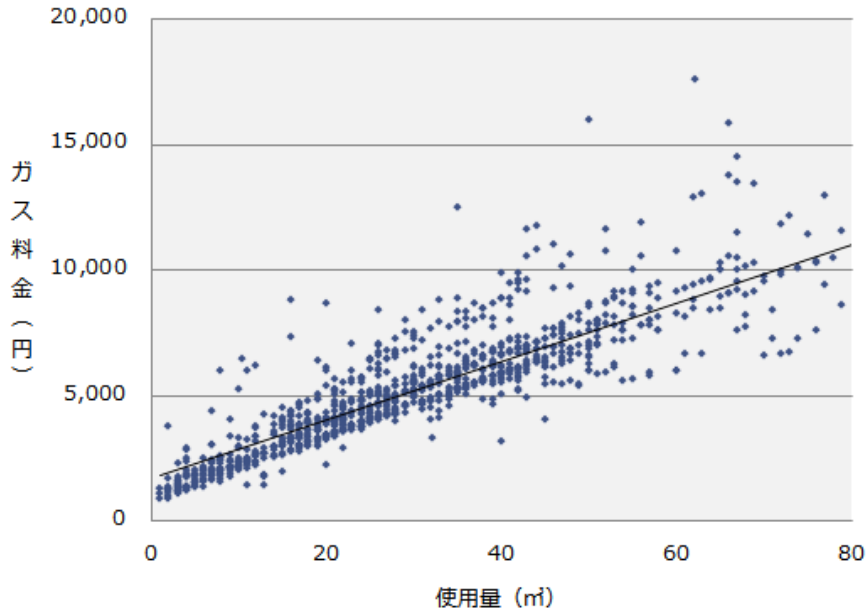
住宅別ガスの種類



### (3) 都市ガスの料金

都市ガスの使用量の平均は 31 m<sup>3</sup>で、平均料金は 5,329 円だった。料金の分布をみると、使用量によって価格は比例しており、家庭によって大きなバラツキもみられなかった。

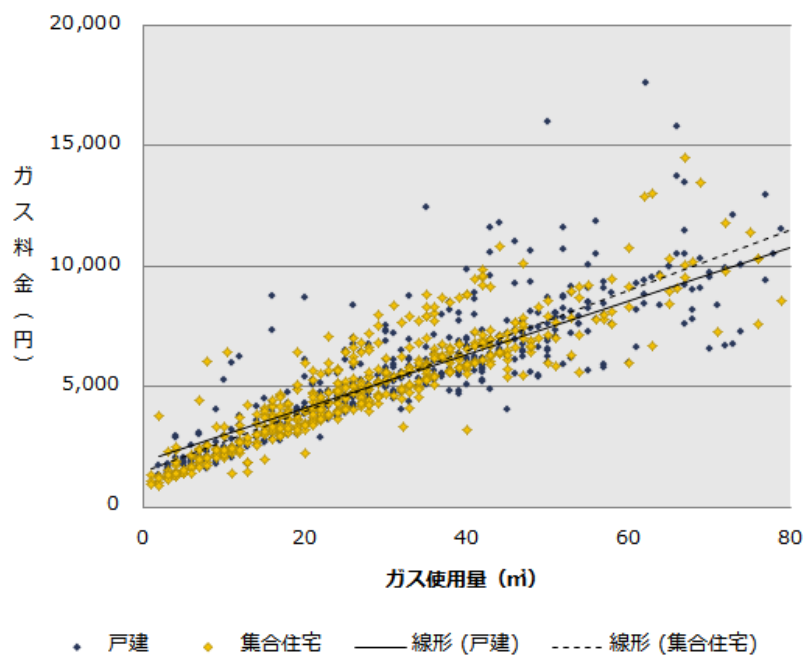
#### 都市ガス料金の分布



### (4) 都市ガスの料金（住宅別）

都市ガスの料金を住宅別にみると、平均額は集合住宅（平均料金 5,012 円、平均使用量 28.1 m<sup>3</sup>）と戸建（平均料金 5,632 円、平均使用量 33.6 m<sup>3</sup>）の間に大きな差はなかった。

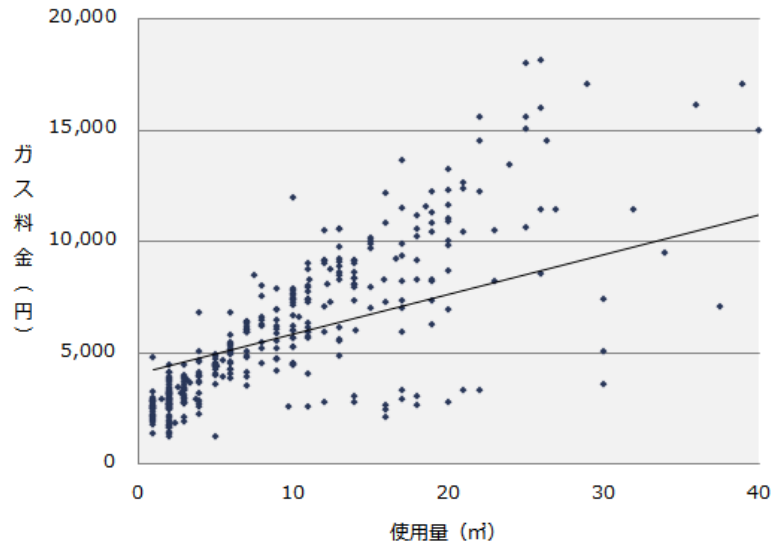
#### 戸建・集合住宅別の都市ガス料金



### (5) LPガスの料金

LPガス使用量の平均は11 m<sup>3</sup>で、平均料金は6,051円だった。都市ガスの平均料金と比較すると、約700円ほどLPガスの方が高い傾向にあった。また、料金の分布をみると、家庭によって大きなバラツキがみられた。同じ量を使用している世帯でも、料金は最低と最高で大きな差がみられた。

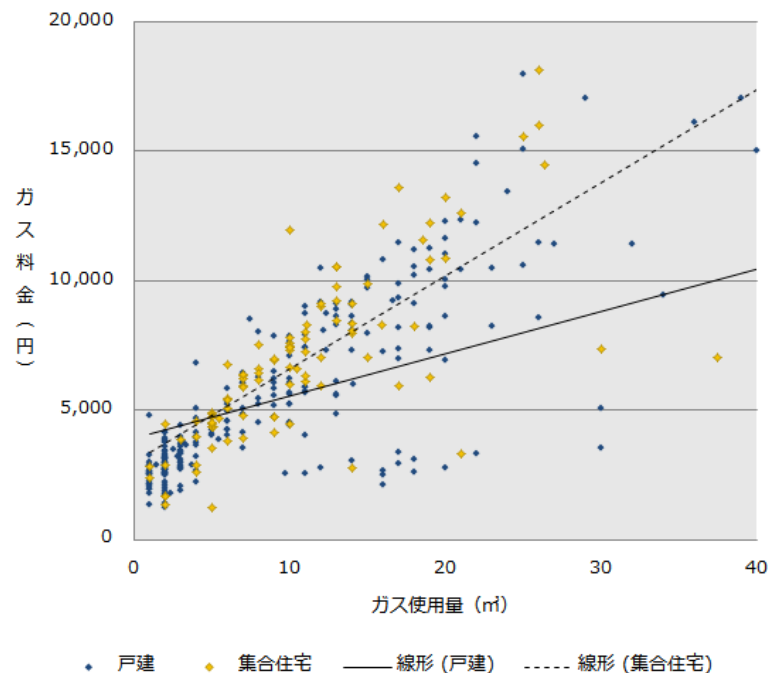
#### LPガス料金の分布



### (6) LPガスの料金（住宅別）

LPガスの料金を住宅別にみると、集合住宅、戸建とも、価格に大きなバラツキがみられた。平均使用量は集合住宅（平均10.9 m<sup>3</sup>）と戸建（平均11.0 m<sup>3</sup>）でほぼ同じにも関わらず、平均料金は集合住宅（平均6,939円）と戸建（平均5,725円）で、集合住宅の方が1,000円以上高かった。

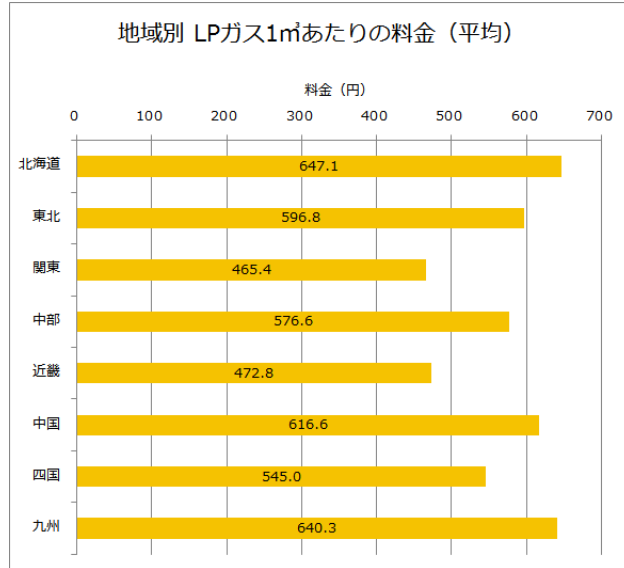
#### 戸建・集合住宅別のLPガス料金



### (7) LPガスの使用量と料金（地域別）

地域別にLPガスの使用量と料金を比較したところ、関東・近畿と北海道では使用量に2倍以上の差があることがわかった。料金では、中国が最も高く、北海道が最も安くなっているが、1m<sup>3</sup>当たりの料金で見ると、基本料金部分が影響していることもあり、北海道、九州が高くなった。

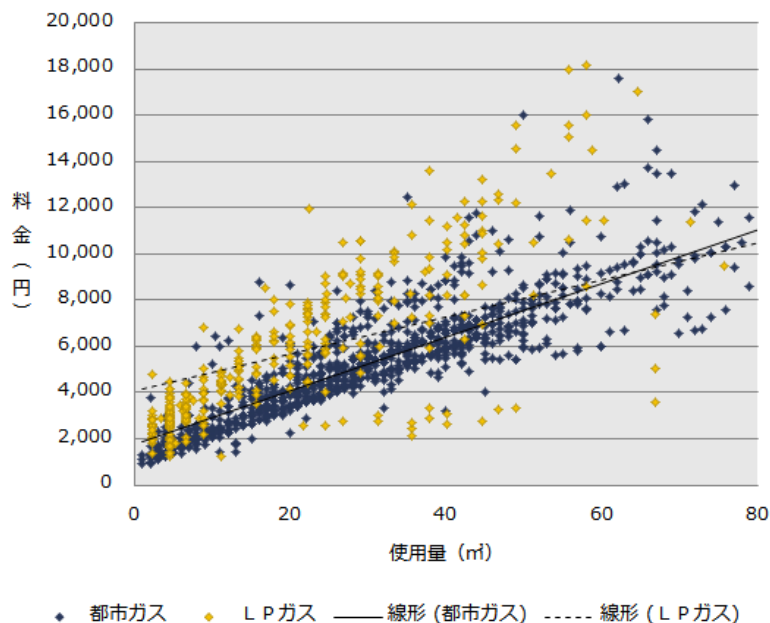
	使用量平均 (m <sup>3</sup> )	料金平均 (円)
北海道	7.0	4501
東北	9.0	5343
関東	14.4	6713
中部	10.1	5822
近畿	14.9	7059
中国	12.3	7569
四国	9.9	5406
九州	9.3	5948



### (8) 都市ガスとLPガスの料金の比較

都市ガスの料金と、LPガスの料金の比較を行った。使用量の単位をそろえるため（都市ガスが約10,740kcal/m<sup>3</sup>、LPガスが約24,000kcal/m<sup>3</sup>）、LPガスの使用量（m<sup>3</sup>）を2.23倍し、分布図を重ねた。その結果、LPガスは都市ガスに比べて価格が高く、使用量が増えるとともに価格も大きく上がっていく傾向が顕著にみられた。また、LPガスは、都市ガスに比べて各家庭によって価格のバラツキが大きかった。

### 都市ガスとLPガスの比較

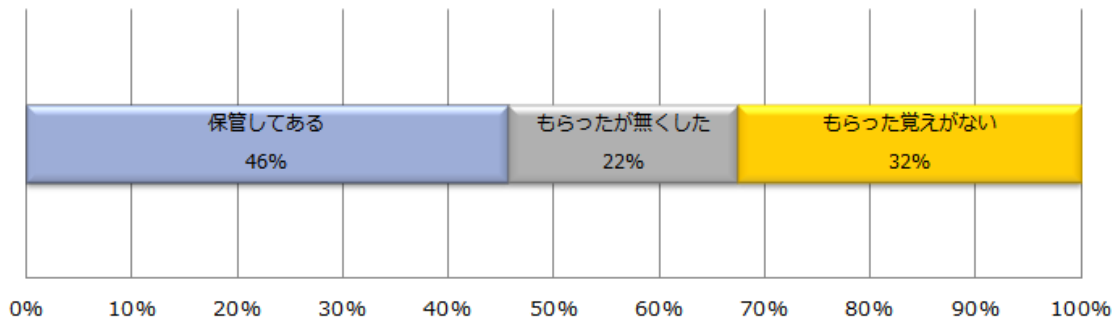


(9) 書面確認の有無

LP ガスの販売事業者は、消費者との契約に当たって、配管その他の設備関係の所有権や所有関係及び価格算定方法等の重要事項を消費者に対して十分に説明し、取引等の内容を明確にするために書面の交付を義務づけられている。その書面を販売事業者からもらったどうかについてきた。回答者のうち、「保管してある」が163件で46%、「もらったが無くした」が78件で22%、「もらった覚えがない」が116件で32%となっており、合計で過半数の方が手元にない状況にあった。

保管してある	163
もらったが無くした	78
もらった覚えがない	116

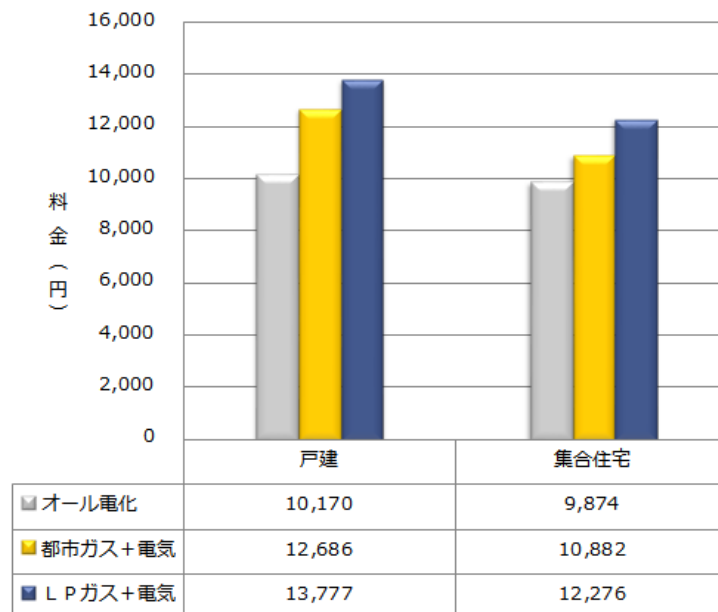
書面確認の有無



(10) 光熱費の料金比較（オール電化、電気と都市ガス、電気とLPガス）（住宅別）

電気とガスを合わせた、光熱費の合計の料金比較を行った。オール電化（ガスを使用していない家庭）の家庭、電気と都市ガスを使用している家庭、電気とLPガスを使用している家庭に分けて比較を行った。光熱費の料金比較を住宅別にみると、戸建、集合住宅とも「オール電化」が安く、「電気とLPガス」が高い傾向だった。ただし、オール電化の家庭で、戸建の場合には、初期費用がかかることも考慮する必要がある。

光熱費の料金比較（住宅種類別）



#### 4. LP ガスの領収書の例

LP ガスについては、業者が全国で約 2 万社あり、領収書も様々な記述方法となっているため、任意で領収書の画像をいただいた。領収書をみると、基本料金の記載がなく料金の内訳がわからないものや、手書きによる簡素な領収書など、様々な種類がみられた。

【基本料金の記載のある領収書例】

ガスご使用料金等のお知らせ

お客様番号：  
メータ番号：  
住所：

お問合せの際は、ご氏名とお客様番号をお知らせください。  
検針担当者

2016年05月分  
 今回検針日 05月24日 今回指針 518.0  
 前回検針日 04月25日 前回指針 507.6  
 当月使用日数 29日  
**ご使用量 10.4m<sup>3</sup>**

ガス料金 5,662円  
 (内消費税等 419円)

**ご請求金額 5,662円**  
 (消費税等を含みます)

振替予定日はクレジットカード会社から送付されるご利用明細書にてご確認ください。

ご参考  
 前月ご使用量 19.3m<sup>3</sup>  
 前年同月ご使用量 13.7m<sup>3</sup>

料金のお知らせ (05月分)

料金表 種別	使用量 (m <sup>3</sup> /月)	基本料金(税込) (円/月)	単位料金(税込) (円/m <sup>3</sup> )
A	0.0~8.0	1008.72	463.51
B	8.1~30.0	1566.00	393.85
C	30.1~	4991.50	279.68

・単位料金は原料費調整額を含んだ料金です。

【基本料金の記載のない領収書の例】

検針票兼請求領収書

320137002 検針日 16/05/18 12:05  
目録

ガスのご使用量のお知らせ

今回指針	16/05/18	375.7 m <sup>3</sup>
前回指針	16/04/15	352.0 m <sup>3</sup>
ご使用量		13.7 m <sup>3</sup>
(前回使用量)		14.8 m <sup>3</sup>
(前年同月使用量)		10.0 m <sup>3</sup>

ガス料金等及び内訳のお知らせ

今回ガス料金 7,045円  
 (内消費税 621円)

残高明細

残高明細合計 \*\*\*\*\*円  
 今回請求金額 7,045円  
 領収金額 0円  
 合計請求金額 \*\*\*\*\*円

口座振替結果のお知らせ

16年04月分 8,818円をご指定口座より  
 16年05月10日に振替させて頂きました。

次回振替予定のお知らせ

振替予定日 06月10日

供給設備点検

①設置場所屋外	○
②火気との距離2m	○
③温度40℃以下	○
④転倒防止	○
⑤容器・バルブ・集合	○
⑥供給管閉止弁	○
⑦調整器	○
⑧表示・標識	○
⑨高圧ホース	○
⑩M・Sメーター確認	○

上記検査通知事項>印の付良です。速やかに改善する必要があります。

お知らせ

**ガス器具の事なら何でもご相談下さい。ご用命は当社まで!!**

【手書きによる領収書の例 (総額のみ)】

領収証

No. 570245

様

2016年 5月 25日

7,3154円

但

株式会社

印紙

## 5. 自由記入「電気料金・ガス料金について思っていること」

多くの方が記入されていますが、特徴的な声をご紹介します。

### 【電気・ガス全般について】

- ・もっと安くなる方法を検討したいが面倒。
- ・ガスも電気も自分が使っている会社の料金しか知らないで、他社との比較がしにくい。特にガスはどう調べたらいいのかわからない。
- ・我が家の料金が高いのか安いのか、比較したものを見る機会がなくわからずに過ごしているのが現状です。大まかにわかれば、節約にもつながるような気がします。
- ・マンションなので会社を変えられるのかわからない。
- ・転勤族なのでその辺の悩みがクリアになれば（異動がでて解約料金が多額にかかるようであれば今のままが安全かも）、他の会社と契約も考えたいと思っています。

### 【電気について】

- ・電気料金を勉強したいけど、情報をどこで得たらいいかわからない。
- ・「電力の自由化」と言われていますが、選択肢がそもそもわからないので、比べようがありません。
- ・安く抑える工夫や家庭に見合ったアンペア数などの情報を提供して欲しい。
- ・保険には「ファイナンシャルプランナー」という全体を見られる人がいるように、電気にも全体を見渡せる「電気プランナー」がいたらよいと思います。
- ・我が家のような少ない使用量では何のメリットもないと聞いています。省エネ対策をしている家庭になぜ優遇されないのか??矛盾を感じています。
- ・この地域では、競合する会社が少なく、切り替えるメリットがあまり感じられない、と思います。
- ・マンションで電力一括購入してるので電力会社を変えられない。家では節約を心掛けても大して変わらない。もう節電し尽くしている気がする。
- ・勧誘の電話はひっきりなしにかかってきて、煩わしかった。
- ・新規参入した会社に変更したら、なぜ安くできるのか仕組みが良くわからない。
- ・最近の使用料などを、HP でみたり、比較したりできるので便利に活用しています。
- ・オール電化で太陽光発電をしている家は光熱費がかなり低く済んでいるみたいなので羨ましい。しかし設置して稼働させるまでの費用を考えるとなかなか実行できない。

### 【ガスについて】

- ・プロパンガスは都市ガスに比べて割高と聞いているが、どの程度高いのかわからないし、都市ガスに変えるには、工事が必要なので、踏み切れない。(LP ガス)
- ・電気は時間帯で料金が変わるプランにしていますが、ガスもそうなってくれると嬉しい。昼間ほとんど使わないので。(都市ガス)
- ・都市ガスも使用できる地域ですが 10 年位前に検討したときは LP ガスの方が安かったのが現在どちらが安いかわかりません。また、火力の違いがあり単純には比べられないと言われました。電気料金のように比較できるサイトがあればいいなと思っています。(LP ガス)